

- 問1 9世紀初め、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 鑑真 3. 行基 4. 空海
- 問2 平安時代の文化的な特徴をまとめた資料において、貴族が中心となって日本の風土に合わせた「国風文化」が生み出されたことが示されています。この時期に貴族が住んだ、池のある庭園に面した開放的な建築様式を何といいますか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 武家造 2. 書院造 3. 寝殿造 4. 高床倉庫
- 問3 歴史の年表において、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握り、各地の荘園を基盤に勢力を拡大していた平安時代中期の項目があります。この時期に、それまでの中国文化の影響を土台としながらも、日本の気候や日本人の感性に合わせた独自の工夫が加えられて発展した文化を何といいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 国風文化 3. 東山文化 4. 鎌倉文化
- 問4 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 法隆寺五重塔 2. 平等院鳳凰堂 3. 東大寺大仏殿 4. 鹿苑寺金閣
- 問5 奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 厳島神社 2. 中尊寺金色堂 3. 鹿苑寺金閣 4. 平等院鳳凰堂
- 問6 国風文化の時期には、漢字を簡略化したり一部を利用したりすることで、日本語の音を自由に書き表せる文字が普及しました。この文字が使われたことで、紫式部による『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれたほか、和歌が盛んに詠まれるようになりました。この文字の名称を答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. かな文字 2. 象形文字 3. 楔形文字 4. 梵字
- 問7 摂関政治において、天皇が幼い時に政治を代行する役職と、天皇が成人した後にその補佐をしながら政治を司る役職の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 執権・連署 2. 内大臣・右大臣 3. 太政大臣・征夷大將軍 4. 摂政・関白
- 問8 平安時代中期、摂政・関白として権勢を振るった藤原頼通は、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。池の中央に配された阿弥陀堂が、翼を広げた鳥のような優美な形状をしているこの建築は、当時の人々のどのような願いを現世に表現しようとしたものですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 武士の勢力に対抗するため、将軍としての政治的な権威を象徴するため 2. 禅宗の教えに基づき、座禅などの厳しい修行によって悟りを開くため 3. 大陸との貿易による利益を背景に、最新の建築様式を貴族たちに誇示するため 4. 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため
- 問9 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。 2. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。 3. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広まった。 4. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。
- 問10 『枕草子』が執筆された当時の文化的な背景について述べた、次の説明文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして最もふさわしいものを選びなさい。「この時代には、（ X ）が使われるようになったことで、女性による優れた文学作品が多く生まれた。清少納言が書いた『枕草子』は、（ Y ）という文学ジャンルの代表作である。」 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. X：漢字、Y：日記 2. X：かな文字、Y：随筆 3. X：漢字、Y：物語 4. X：かな文字、Y：和歌
- 問11 外交史の年表において、九世紀後半に遣唐使が廃止された時期と同じころ、日本の地方政治では大きな混乱が見られました。この時期の地方政治の様子として最も適切な説明を、次のうちから選んでください。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 大宰府が新たに設置され、海外からの侵攻に備えた軍事的な整備が急速に進んだ。 2. 二毛作が全国的に普及したことで農村が豊かになり、国司の徴税業務が軽減された。 3. 地方豪族の力を抑えるために、国司による監督体制がそれまで以上に強化された。 4. 中央から派遣された国司が、徴収した税を私物化するなどして地方政治が乱れた。
- 問12 桓武天皇の時代に、東北地方に居住し朝廷の支配に抵抗していた「蝦夷」と呼ばれる人々を服属させるため、軍の指揮官として任命された人物は誰ですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 藤原清衡 2. 坂上田村麻呂 3. 足利尊氏 4. 源義経
- 問13 784年に都を長岡京に移したものの、その後わずか10年ほどで再び遷都が行われました。794年に山城国に新しく造営され、それから約400年間にわたる時代の中心となった都と、その遷都を断行した天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 平安京と聖武天皇 2. 平安京と桓武天皇 3. 平城京と桓武天皇 4. 平城京と聖武天皇
- 問14 平安時代中期の「国風文化」において、日本の気候や風土に合わせて発展した建築様式の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
1. 急な傾斜の屋根を持ち、屋根裏で養蚕を行うことができる山間部のつくり 2. 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり 3. 畳を敷き詰め、障子やふすまで部屋を細かく仕切った実用的なつくり 4. 外敵の侵入を防ぐために石垣や堀をめぐらせ、壁を厚くした堅牢なつくり

答え合わせ・解説

問1	答え 1 最澄	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、唐での修行を終えて帰国し、比叡山（滋賀県・京都府）を拠点に天台宗を日本に伝えました。同時期に活躍した空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めており、入試ではこの二人の活動場所と宗派の組み合わせが頻出となります。
問2	答え 3 寝殿造	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や貴族の生活感覚に合わせた国風文化が発達しました。この時期の貴族の邸宅は、広い敷地に池のある庭園を設け、各建物が廊下で結ばれた開放的な構造を持っていました。これは、日本の夏の高温多湿な気候に適応した造りでもあります。
問3	答え 2 国風文化	894年に遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）の文化をそのまま模倣するのではなく、日本の風土や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。藤原氏による摂関政治が行われた時期に、貴族を中心に洗練されたこの独自の文化が最盛期を迎えました。
問4	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原頼通が宇治に建立した平等院鳳凰堂は、当時の貴族が憧れた極楽浄土を地上に再現しようとした建築の代表例です。堂内には定朝が制作した阿弥陀如来像が安置されており、周囲の池や庭園と合わせて、死後の世界である浄土を視覚的に表現しています。
問5	答え 2 中尊寺金色堂	藤原清衡が、相次ぐ戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏の教えに基づいた平和な理想郷を建設しようとして建立しました。当時、東北地方で豊富に産出された金（産金）や、海外との交易で得られた螺鈿（らでん）細工などが贅沢に使われており、北方の王者にふさわしい富を示しています。
問6	答え 1 かな文字	漢字を日本風に崩したり簡略化したりして生まれた「かな文字（ひらがな・カタカナ）」の普及は、国風文化の最大の特徴の一つです。これにより、漢字だけでは表現しきれなかった日本人の繊細な感情や、日常の出来事を文章に綴ることが可能になり、女流文学や和歌が大きく発展しました。
問7	答え 4 摂政・関白	藤原道長らによる摂関政治の名称は、天皇の代行を務める「摂政」と、成人後の補佐役である「関白」の二つの役職に由来します。道長は、平安時代中期にこれらを通じて権勢を誇り、有名な「この世をば…」の歌を詠むほどの全盛期を築きました。なお、武士の代表である征夷大将軍や、鎌倉幕府の執権などとは、任命される背景も権力の根拠も異なります。
問8	答え 4 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法思想」が広まり、人々の間で死後に救済を求める浄土信仰が流行しました。藤原頼通は、この信仰に基づいて阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立しました。庭園の池の中に建てられたその姿は、阿弥陀仏が住む理想郷である極楽浄土を、地上に視覚的に再現することを目指したものです。選択肢にある禅宗は鎌倉時代に広まったものであり、貿易利益や将軍の権威といった要素もこの建築の本来の目的とは異なります。
問9	答え 3 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広まった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、中国の影響を消化しつつ日本の感性に合わせた「国風文化」が成立しました。それまで公的な文書は漢字（真名）で書かれていましたが、日常的な感情や細やかな情景を表現するのに適した「かな文字」が使われるようになり、紫式部らによる物語文学の開花につながりました。
問10	答え 2 X：かな文字、Y：随筆	平安時代には、漢字を簡略化した「かな文字（平仮名）」が普及し、漢字を主に使用していた男性に対して、女性が自分の感情や生活を豊かに表現できるようになりました。清少納言は一条天皇の中宮定子に仕え、見聞したことや感じたことを自由な形式で書き留める「随筆」という形式で『枕草子』を著しました。
問11	答え 4 中央から派遣された国司が、徴収した税を私物化するなどして地方政治が乱れた。	平安時代中期、律令制による人別支配が困難になると、朝廷は国司（受領）に一定の税の納入を請け負わせるようになりました。その結果、任地で徴収した税の一部を自分の収入とする国司が現れ、私利私欲をむさぼる行為が横行しました。これにより地方政治は混乱し、後の武士の台頭へとつながる社会変化の要因となりました。なお、大宰府の設置は飛鳥時代であり、二毛作の普及は主に鎌倉時代以降のことです。
問12	答え 2 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都を進める一方で、律令国家の支配を強化するために東北地方への遠征を積極的に行いました。その際、征夷大将軍として抜擢されたのが坂上田村麻呂です。彼は現在の岩手県にある胆沢城を拠点に蝦夷の指導者であったアテルイを降伏させるなど、朝廷の勢力範囲を北へと大きく広げる役割を果たしました。
問13	答え 2 平安京と桓武天皇	奈良の平城京で強大になった仏教勢力から政治を切り離し、律令政治を立て直すために、桓武天皇は784年に長岡京へ、そして794年に平安京へと都を移しました。これが平安時代の始まりです。
問14	答え 2 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり	遣唐使の廃止によって日本の独自の文化である「国風文化」が発達しました。寝殿造は、壁が少なく御簾（みす）や屏風で空間を仕切る開放的な構造が特徴です。これは、日本の夏の蒸し暑さをしのぐための工夫でもありました。他の選択肢にある「畳を敷き詰め、障子やふすまで仕切る」形式は、のちの書院造の特徴です。